

# 平成17年度岐阜県立高等学校入学者選抜に関する諮問会からの 答申について

平成17年度岐阜県立高等学校入学者選抜に関する諮問会（入試諮問会）は、昨年9月に設置され、教育長より、現在の入試制度の検証と平成19年度入学者選抜の改善方を検討するよう諮問を受けました。

これまでに2回の会議において審議を行い、本日、教育長に答申したので発表します。

## 答申の概要

### 1 「特色化選抜」の評価について

#### (1) 検証結果

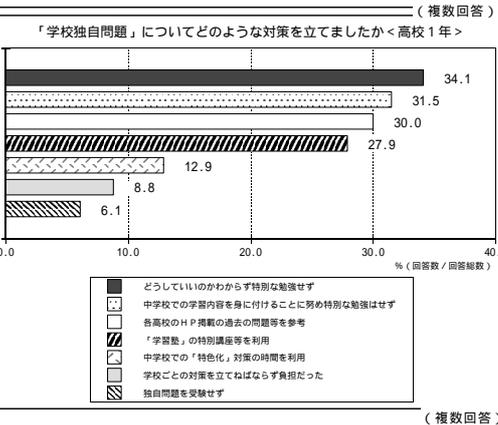
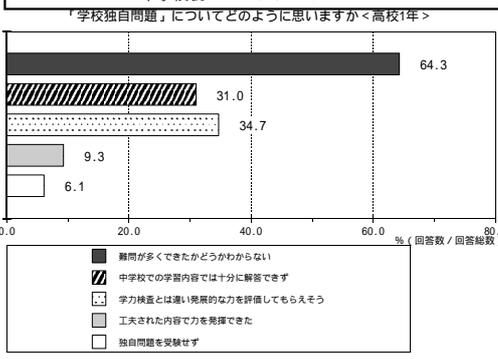
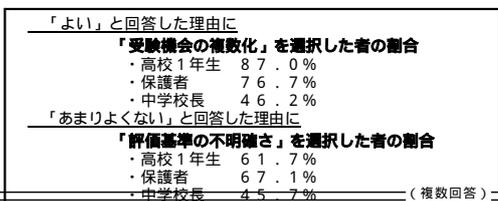
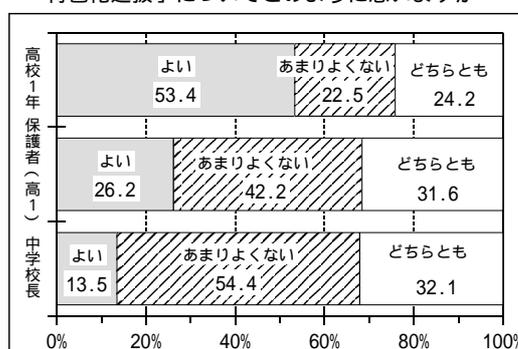
「特色化選抜」については、受験の主体者であった高校1年生の半数以上が「よい」と評価し、その理由は「受験機会の複数化」が多い。

「特色化選抜」について、「あまりよくない」と回答した理由としては、「評価基準の不明確さ」をあげる者が多い。

「特色化選抜」の選抜方法のうち学校独自問題を受験した高校1年生からは、事前にどのような学習をすればよいのかわからず、具体的な対策をたてることができなかった、もしくは学習塾の特別講座等を利用したとの回答や、受験後に実際にできたかどうかの確証が得られなかったという回答が多くみられた。

高校入学後の状況について、高等学校長からは、「特色化選抜」導入後、目的意識が高く、主体的・意欲的な生徒が増加した結果、部活動や学校行事も含め学校全体が活性化したとの意見が出されたほか、学習や部活動の参加状況又は成果の面で、比較的高い評価を得ているという傾向がみられた。

「特色化選抜」についてどのように思いますか



**(2) 平成19年度選抜における改善方針**

受験生が「特色化選抜」と「一般選抜」と合わせて2回受験できる現在の制度は維持する。

普通科高校における「評価基準の不明確さ」を指摘する声が多いことから、より分かりやすい情報を提供するため、たとえば次のような改善を図る必要がある。

- ・ 各高校は、教育方針、教育課程や指導方法の特色を明確にし他校との違いを一層アピールすること
- ・ 各高校は、入学者選抜において重視する評価の観点を一層明確にすること
- ・ 評価する観点別に募集人員を分割し選抜することができるようにすること
- ・ 「一般選抜」の学力検査の得点と同様に学校独自問題の得点についても、受験者本人の請求による情報提供の対象とすること

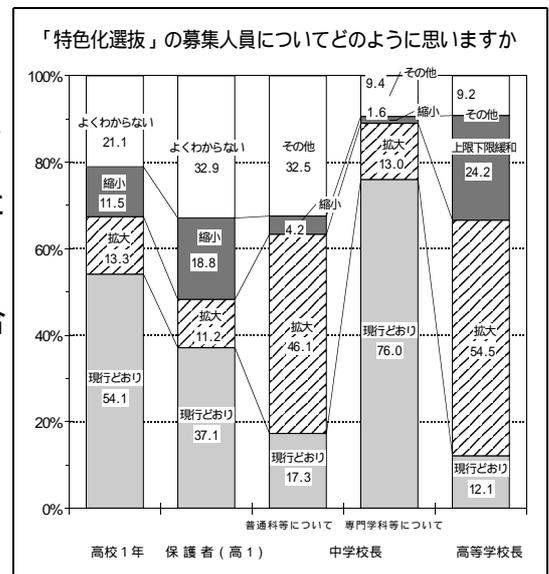
学校独自問題については、各高校ごとに出題するのではなく、県内統一の問題で実施することが望ましい。

**2 「特色化選抜」の募集人員の割合について**

**(1) 検証結果**

「特色化選抜」の募集人員の割合については、高校1年生とその保護者においては、「現行どおり」との回答が最も多い。

一方、中学校長及び高等学校長は「募集人員の割合の増加」の回答が多く、回答の結果が異なった。



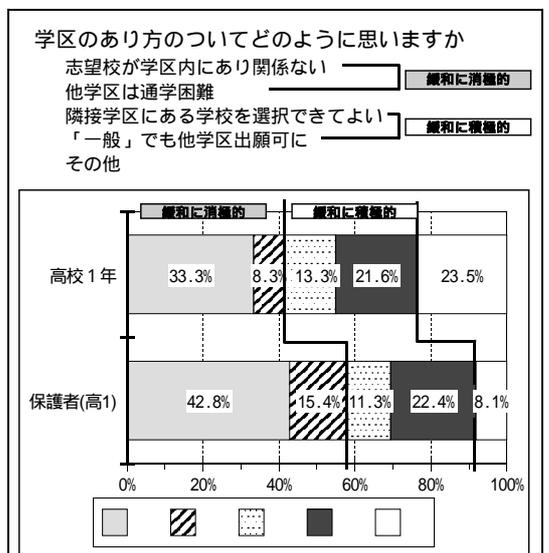
**(2) 平成19年度選抜における改善方針**

「特色化選抜」の募集人員の割合については、普通科等については、当該学科の入学定員の10～20%、専門学科・総合学科については、当該学科の入学定員の10～50%という募集人員の割合は変更しない。

**3 学区のあり方について**

**(1) 検証結果**

学区については、調査対象者や地域によって回答の傾向が様々であり、一定の方向性を捉えることは困難であった。



**(2) 平成19年度選抜における改善方針**

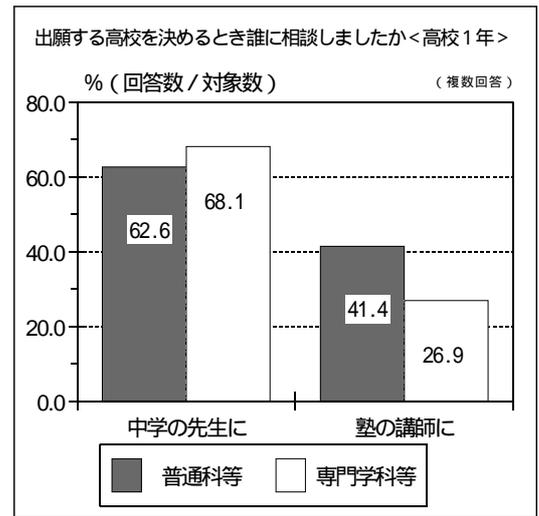
学区のあり方については、現時点では、制度の変更はしない。ただし、平成19年度に実施する高校の統合により、居住地域からの通学事情が大きく変化する一部地域については、調整区域の設置等により対応する必要がある。

## 4 進路指導・進路選択について

### (1) 検証結果

- 「特色化選抜」において出願する高校を選択する場合、生徒は自分の「行きたい学校」の特色を重んじる一方で、「一般選抜」においては合否の可能性をより重視している。

生徒が出願する高校を選択する場合の相談相手としては、中学校の先生や保護者を第一と考えているが、学習塾の影響も少なからずあり、特に普通科高校への出願を検討する場合には、学習塾に依存する傾向がある。



### (2) 平成19年度選抜における改善方策

中学校の進路指導については、県教育委員会が現状を改めて検証し、生徒及びその保護者のニーズに応えたものとなるように、より客観的な資料の利用など具体的な改善方策について検討する必要がある。

中学校及び高校が連携して相互の情報交換に努めること

アンケート結果の比率 (%) は各項目ごとに小数第2位を四捨五入してあるので、合計が100%にならない場合があります